

Maebashi Institute of Technology

公立大学法人 前橋工科大学

2022年度

学生募集要項

一般選抜

感染症等の状況により、試験日程・選抜方法等が変更になる場合があります。

変更する場合は、ホームページ等で速やかにお知らせいたします。

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課直通)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

CONTENTS

□ 前橋工科大学工学部の教育ポリシー 工学部の入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針、卒業認定・学位授与の方針……………	1
□ 一般選抜関係日程……………	2
I 試験概要……………	3
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
4. 学力試験等の配点	
5. 個別学力検査等の期日・時間割	
6. 複数受験	
II 出願・手順……………	6
1. 出願手順	
2. 出願書類	
3. 出願先	
4. 入学検定料	
5. 出願手続上の注意事項	
6. 受験票	
7. 障害等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談	
III 受験上の注意事項……………	12
1. 試験場への入退場	
2. 個人的事情による遅刻者の扱い	
3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い	
4. 所持品	
5. 受験心得	
6. その他	
IV 感染症等への対策……………	15
1. 医療機関での受診	
2. 受験できない者	
3. 試験当日の留意事項	
4. 衛生管理	
V 追試験の実施……………	15
1. 追試験日程	
2. 追試験の対象者	
3. 申請受付期間	
4. 申請方法	
5. 追試験受験許可書の交付	
6. その他	
VI 合格発表……………	16
1. 発表日時	
2. 発表方法	
3. 追加合格等	
4. 情報開示	
VII 入学手続……………	17
1. 入学手続	
2. 入学に係る経費	
VIII その他……………	20
1. 個人情報の取り扱い	
2. ノート型パソコンの必携化について	
3. 試験会場（各試験会場の案内図）	
□ 各学群の入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針、卒業認定・学位授与の方針……………	22

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の3つのポリシー（アドミSSION・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミSSION・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたいが、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに3つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

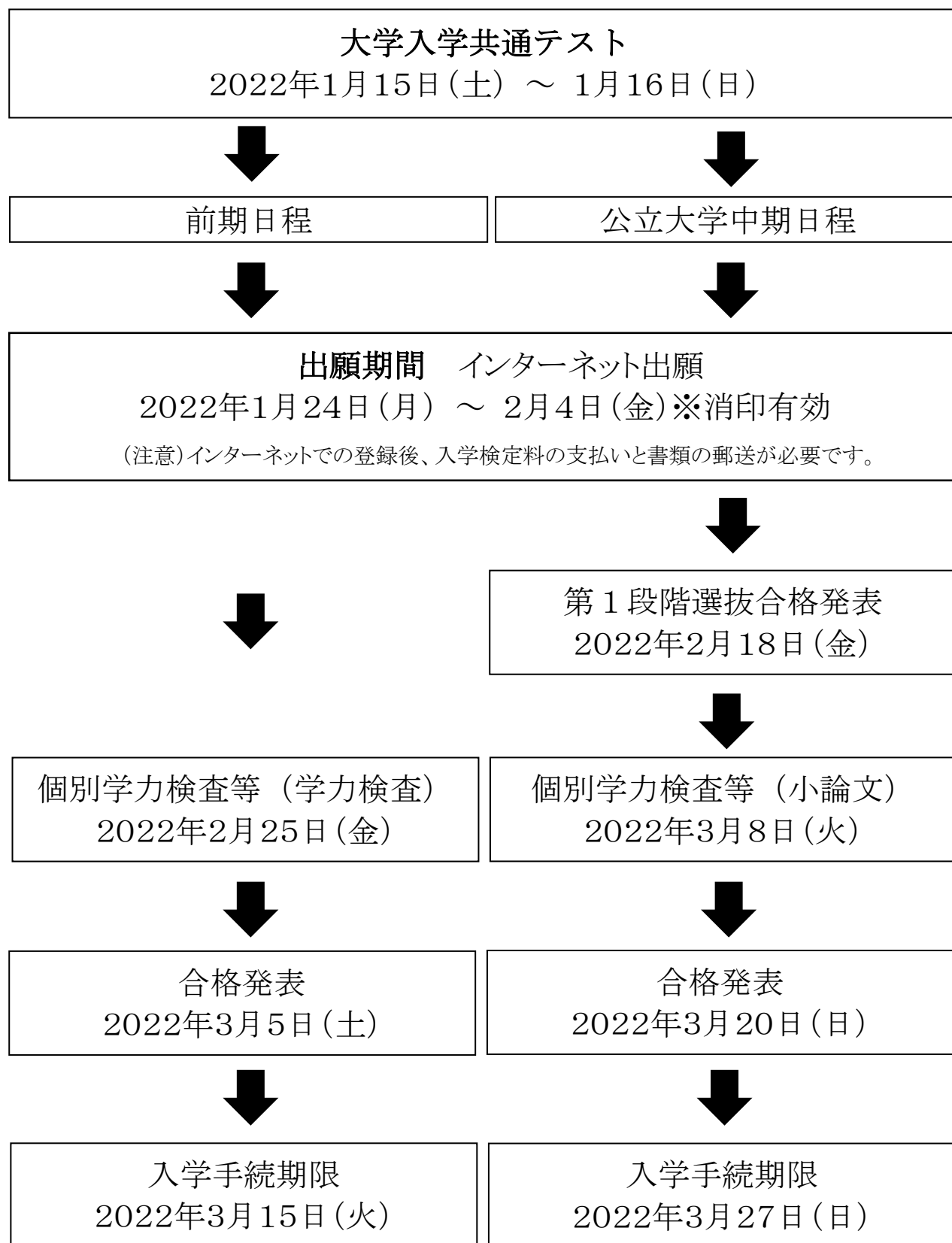
● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修させる
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身に付けさせる
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

前橋工科大学一般選抜関係日程



※上記試験の他、追試験を実施する場合があります。詳細は「V 追試験の実施」(15ページ)を確認してください。

I 試験概要

1. 募集人員

学部	学群 ^{※1}	募集人員 ^{※2}	
		前期日程	公立大学中期日程
工学部	建築・都市・環境工	90名	12名
	情報・生命工	90名	12名

一般選抜の「前期日程」及び「公立大学中期日程」は、分離・分割方式の区分によります。

※1 学科に相当します。(以下同じ。)

※2 学校推薦型選抜及び総合型選抜の入学手続き者がそれぞれの募集人員の合計に満たない場合、その欠員分を一般選抜(前期日程)の募集人員に加えます。

【入学後のプログラム配属について】

一般選抜(前期日程・公立大学中期日程)に合格し、入学された方が配属する教育プログラムは、本人の意向と1年次の成績により決定します。

2. 出願資格

令和4年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)を卒業した者及び2022年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部、又は高等専門学校の3年次を修了した者、及び2022年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第4号及び第6号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者及び2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに満18歳に達する者
- (5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに満18歳に達する者(出願個別の入学資格審査において、出願資格を認定された者は、本学のみ有効なものです。)なお、本項目に係る申請期間は終了しました。

出願に際し、本学が指定する「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」(4ページ)を受験しているかを必ず確認してください。

本要項で指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験していない場合は出願資格がありませんので、十分確認を行ってください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績、主体性の評価(前期日程のみ)を総合して行います。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

区分	学群	教科	科目	教科・科目数
前期日程 ・ 公立大学 中期日程 (共通)	建築・都市・ 環境工	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」 「英語（リーディング・リスニング）」	4教科 6科目
	情報・生命工	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から2科目 「英語（リーディング・リスニング）」	4教科 6科目

【大学入学共通テストの利用教科・科目についての注意事項】

1. 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とします。
2. 国語は、「近代以降の文章」のみ利用します。
3. 理科の科目は、建築・都市・環境工学群では「物理」「化学」の2科目とし、情報・生命工学群では「物理」「化学」「生物」から2科目選択とします。
4. 外国語は、「英語(リーディング・リスニング)」を利用します。また、リーディングの成績は150点満点に、リスニングの成績は50点満点になるよう換算して利用します。
なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点になるよう換算して利用します。
5. 過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(2) 2段階選抜

入学志願者数が募集人員に対して下記倍率を上回り、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合には、大学入学共通テストの成績等により第1段階選抜合格者を決定します。ただし、英語の成績は換算後の点数を利用します。

学群	倍率	
	前期日程	公立大学中期日程
建築・都市・環境工	—	約20倍
情報・生命工	—	約20倍

(3) 第1段階選抜合格者発表

2022年2月18日(金) 13:00に第1段階選抜合格者の受験番号を大学ホームページに掲載します。また、不合格者には不合格通知及び入学検定料の一部を返還するための手続書類を送付しますので、所定の方法により3月8日(火)までに提出してください。

(4) 個別学力検査等の実施教科・科目等

区分	学 群	教 科	科 目
前期日程	建築・都市・環境工	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ ^(注) 、 数学A、数学B
	情報・生命工		
公立大学 中期日程	建築・都市・環境工	その他	小論文
	情報・生命工		

(注)【2022年度入学者選抜特例措置】「数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B」の範囲で解答できる問題を選択可能とします。

4. 学力試験等の配点

(1) 前期日程

学 群	学力試験	国 語	数 学	理 科	外国語	主体性 評価 ^(注)	合 計
建築・都市・ 環境工	大学入学共通テスト	100	200	200	200	—	700
	個別学力検査等	—	300	—	—	20	320
	計	100	500	200	200	20	1020
情報・生命工	大学入学共通テスト	100	200	200	200	—	700
	個別学力検査等	—	300	—	—	20	320
	計	100	500	200	200	20	1020

(注)主体性評価には「J-Bridge System」を利用します。

(2) 公立大学中期日程

学 群	学力試験	国 語	数 学	理 科	外国語	小論文	合 計
建築・都市・ 環境工	大学入学共通テスト	100	300	300	200	—	900
	個別学力検査等	—	—	—	—	100	100
	計	100	300	300	200	100	1000
情報・生命工	大学入学共通テスト	100	300	300	200	—	900
	個別学力検査等	—	—	—	—	100	100
	計	100	300	300	200	100	1000

5. 個別学力検査等の期日・時間割

- ・各会場の試験室入室開始時間は、9時00分を予定しています。
- ・受験生は、9時30分までに試験室に入室してください。
- ・前橋会場のみ入室開始までの控室があります。

(1)前期日程 2022年2月25日(金)

時間	10:00~	12:00
学 群		
建築・都市・環境工	諸 注 意	数 学
情報・生命工		

(2)公立大学中期日程 2022年3月8日(火)

時間	10:00~	12:00
学 群		
建築・都市・環境工	諸 注 意	小 論 文
情報・生命工		

6. 複数受験

- (1) 本学の前期日程、公立大学中期日程の両日程に出願することができます。
- (2) 本学の前期日程と他の国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の前期日程との併願及び本学の公立大学中期日程と他の公立大学の公立大学中期日程との併願はできません。
- (3) 本学の学校推薦型選抜若しくは総合型選抜又は他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜若しくは総合型選抜に合格し、入学手続きを行った者は、本学の個別学力検査等に出願しても受験することができません。たとえ受験しても無効となります。ただし、学校推薦型選抜又は総合型選抜の入学辞退について、当該大学の許可を得た場合はこの限りではありません。

II 出願・手順

1. 出願方法

出願はインターネットを用いて、以下の手順で行います。詳細は、本学出願サイトに記載の「事前準備」や「よくある質問」等をお読みください。

(1)事前準備

- ・インターネットに接続されたパソコン、タブレット、プリンター、メールアドレス（受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいもの）、顔写真データ
- ・市販の角2封筒、大学入学共通テスト受験票、大学入学共通テスト成績請求票、調査書等

●顔写真データについて

規格を満たす写真であれば写真店等で撮影したものでなくても構いません。写真プリントの添付や送付は必要ありません。

- ・カラー、白黒は不問

- ・ 出願前3カ月以内に撮影した本人の写真であること
- ・ 本人のみが写っているもの
- ・ 正面向き、上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、無帽、無背景であること（顔に影がないもの）
- ・ 目元輪郭を隠していないこと
- ・ ピントが合っていて、鮮明であること
- ・ 画像に加工を施していないこと
- ・ ファイルサイズ等
ファイル形式：JPEG、PNG ファイルサイズ：4MB 以内
縦：320 ピクセル、横：240 ピクセル以上

(2) 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力します。

入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、始めから登録をやり直してください。申込登録完了後の出願内容の訂正は出来ませんので、注意してください。

申込登録後、受付番号が画面表示されます。以後のWEB出願システムへのログイン時や次の志望理由等を入力するシステム登録時（前期日程のみ）に必要となりますので、必ずメモを取ってください。

受付番号（12桁）メモ

(3) 志望理由・高校時代の活動のふりかえりに関する説明の登録（前期日程のみ）※任意登録

主体性評価を目的として、「J-Bridge System」から登録が可能です。「(2) 出願内容の登録」の完了後、「J-Bridge System 連携を行う」ボタンからインターネット出願サイトと連動した専用サイト「J-Bridge System」にアクセスし、高校時代の活動のふりかえりとして、所定の項目を入力してください。「提出する」ボタンをクリックすると、申請登録が完了となります。

なお、申請登録が完了すると入力・修正・削除ができなくなりますのでご注意ください。

※本資料に限り、紙媒体での提出は不要です。

【入力期限（日本時間）】2022年2月4日（金）17:00

(4) 検定料の支払い

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy 対応銀行ATMで支払が可能です。利用可能なお支払い期限は「(2) 支払方法」（10ページ）にてご確認ください。お支払い期限は、申込日を含めて4日間です。

(5) 必要書類の印刷

出願登録後、検定料の支払い後にダウンロードできる書類を全て印刷してください。

※A4サイズで片面印刷（カラー・白黒は問いません）。万が一、登録情報に誤りがある場合は、二重線で消して赤字訂正してください。ただし、入試区分、志望学群、試験会場の変更はできません。

(6) 出願書類の準備

- ・ 志願票・宛名票の確認

志願票の所定の欄に、大学入学共通テスト成績請求票を貼付してください。大学入学共通テスト成績請求票の貼付がない場合又は誤った成績請求票が貼られている場合は、出願が無効になりますので、注意してください。

- ・ 出願書類の確認

必要な出願書類（9 ページ参照）を確認してください。出願書類に不備がある場合は受理しません。

- ・ 郵送の準備

角 2 封筒に宛名票を貼付の上、宛名票のチェックリストにチェックを入れ、志願票・写真票と出願書類を封入してください。万が一、郵送中に宛名票が破損したときに備え、封筒裏面に住所・氏名を記載してください。

※本学の一般選抜【前期日程】・【公立大学中期日程】の両方に出願する場合は、入試日程ごとに封筒を分けて、各々に志願票と出願書類を封入して下さい。

(7) 郵送

出願期間内に到着するよう、郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

【書類送付期限（日本時間）】2022年2月4日（金）消印有効

(8) 受験票の印刷

書類審査終了後、受験票の印刷が可能になりましたら、登録しているメールアドレスとWEB出願システムのログイン後の画面で通知します。WEB出願システムにログイン後、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

《注意事項》

- ・ 本学から受験票は郵送しません。
- ・ 受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなります。
- ・ 印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。
- ・ 試験日の10日前までに受験票の印刷に関する通知が届いていない場合は、本学学務課入試係までお問い合わせください。

2. 出願書類

(1) 出願書類と作成要領等

出願書類	作成要領
志願票及び写真票 及び宛名票	WEB出願システムで必要事項を入力し、入学検定料納付後にダウンロードし、片面印刷してください。(A4、カラー・白黒は問いません)
大学入学共通テスト 成績請求票	大学入試センターから送付された「令和4共通テスト成績請求票」のうち、 <u>前期日程の志願票</u> には「 <u>前</u> 国公立前期日程用」を、 <u>公立大学中期日程の志願票</u> には「 <u>公中</u> 公立大学中期日程用」を所定欄に貼り付けてください。 なお、大学入学共通テスト成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行後の成績請求票を提出してください。大学入学共通テスト成績請求票を提出していない場合や指定のものとは異なる成績請求票を提出した場合、出願が無効となります。
調査書(*)	次の①～⑤のいずれかを提出してください。 ①出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、 <u>厳封したもの</u> を提出してください。 ②高等専門学校第3学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 ③高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む。)合格者は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出してください。成績証明書中、免除科目のある者は、当該科目を履修した学校長が作成した成績証明書も併せて提出してください。 ④外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者、アビトゥーア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、当該試験等の成績証明書を提出してください。 ⑤廃校・被災その他事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿の提出により代えることができます。被災等により、調査書・卒業証明書・成績通信簿等が提出できない場合には大学までご連絡ください。 ※調査書等は、上記の③を除き、2021年4月1日以降のものを提出してください。
志望理由等に関する説明 (前期日程のみ)	「J-Bridge System」にアクセスし、「志望理由等に関する説明」として次の項目を入力してください。 <入力項目> ・本学への志望理由(150字以内) ・これまでにグループで何かを成し遂げるために行った活動を1つ挙げ、自分が果たした役割(150字以内) (提出は任意ですが、提出した場合は「主体性評価」として最大20点の加点対象(5ページ参照)となります。)
前橋市の 住民票の写し	「前橋市内居住者」に該当する者は、入学金減免の対象となるので提出してください。配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。
出願資格認定書	出願資格審査において、出願資格認定書が交付された者は写しを添付してください。

* 調査書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

(2) 提出方法

角型2号封筒にWEB出願システムからダウンロードした「宛名票」を貼付し、出願書類を封入してください。本学の一般選抜【前期日程】・【公立大学中期日程】の両日程に出願する場合は、日程別に封筒を用意し、それぞれ宛名票を貼付してください。また、宛名票が破損したときに備え、封筒裏面に出願者の住所・氏名を記入してください。

上記の準備が整った後、簡易書留及び速達で下記出願先へ郵送してください。出願書類に不備がある場合及び書類送付期限を過ぎて到着した場合は受理いたしませんので、十分注意してください。

なお、簡易書留・速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。また、出願書類の受領確認はお答えいたしません。日本郵便ホームページの追跡サービスで確認してください。

3. 出願先（宛名票記載済）

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係[1号館1階事務局内]

TEL：027-265-7361（学務課直通）

4. 入学検定料

(1) 入学検定料 17,000円

- ・支払期間（日本時間）：2022年1月24日（月）から2月4日（金）17：00まで
- ・両日程に出願する場合は、日程別に入学検定料を納入してください。
- ・入試区分、志望学群、入試会場の誤りによる返還はできません。
- ・入学検定料支払い時は、別途手数料がかかります。

(2) 支払方法

WEB出願システムよりクレジットカードによる決済、コンビニエンスストアからの納入、Pay-easy 利用の決済のいずれかを利用し、支払期限内にお支払いください。

なお、入学検定料の支払いが完了しないと出願書類の印刷ができません。使用可能なクレジットカード、取扱金融機関や注意事項は次のとおりです。

支払方法／取扱金融機関	支払期限	その他
クレジットカード ・VISA ・MasterCard ・JCB ・AMERICAN EXPRESS ・MUFGカード ・DCカード ・UFJカード ・NICOSカード	支払期限は申込日を含め4日間です。（出願締切が4日より短い場合、締切が優先されます）	受験生本人の名義でなくても構いません
Pay-easy 対応銀行ATM※ （ゆうちょ銀行も可）		

WEB出願システム経由のPay-easy ネットバンキング利用可能な金融機関		受験生本人の名義で なくとも構いません
コンビニエンスストア ・セブンイレブン ・ローソン ・ファミリーマート ・ミニストップ ・デイリーヤマザキ ・セイコーマート	支払期限は申込日を含 め4日間です。(出願締 切が4日より短い場 合、締切が優先されま す)	

※ 対象金融機関は、Pay-easy のサイトで確認してください。

(3) 注意事項

次のいずれかに該当する場合に限り、返還請求を受け付けます。それ以外の場合に納入された入学検定料は、理由の如何によらず返還いたしません。

- ① 入学検定料を二重に納入した場合
- ② 入学検定料の納入後、出願手続きをしなかった場合
- ③ 出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
- ④ 出願受付後に大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験していない
出願無資格者であることが判明した場合
- ⑤ 第1段階選抜で不合格となった場合

※上記①～④においては、検定料から手数料を差し引いた金額を返還します。納入した検定料の対象となる試験区分の実施日までに、本学学務課入試係に問い合わせてください。

※上記⑤においては、本人の申し出により、第2次選考（個別学力検査）にかかる入学検定料13,000円を返還します。第1段階選抜結果発表の際、該当者に通知しますので、所定の方法により2022年3月8日（火）までに提出してください。

5. 出願手續上の注意事項

- (1) 一度受け付けをした出願書類及び入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。
- (2) 出願書類に記入漏れやその他不備のある場合は受理しませんので、出願の際には十分確認してください。
- (3) 出願受け付け後は出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号等に変更が生じた場合は、変更を証明する書類を提出していただく必要がありますので、本学学務課入試係まで連絡してください。
- (4) 募集要項の内容に修正等がある場合は、大学ホームページに掲載しますので出願書類作成前と送付前に確認してください。
- (5) 試験会場は受験票で指定していますので、指定された会場で受験してください。指定された試験会場以外では、いかなる理由があっても受験できません。試験会場受け入れ定員を超えた場合、試験会場が変更となる場合があります。これに伴う受験の取りやめについては入学検定料の返還は行いません。
- (6) 国公立大学の前期日程試験に合格し、2022年3月15日までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の公立大学中期日程又は後期日程試験を受験してもその合格者となりません。
- (7) 本学の入学手続きを完了した者は、これを取り消して他の国公立大学への入学手続きを行うことはできません。また、他の国公立大学の入学手続きを完了した者は、本学への入学手続きを行うこ

とはできません。追加合格者についても同様です。ただし、公立大学中期日程の合格者で入学手続きを完了した者が、他大学の前期日程の追試験を受験し合格者となった場合は除きます。

- (8) 大学入学共通テスト受験票・写真票・成績請求票の再発行を受けた場合は、当初発行の受験票・写真票・成績請求票は無効となりますので使用しないでください。必ず、再発行されたものを使用してください。なお、成績請求票について、該当しないものやコピーしたものを使用した場合には、受理できませんので注意してください。
- (9) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

6. 受験票

- (1) 受験票は、受験生本人がWEB出願システムからダウンロードし、印刷してください。受験票の送付は行いません。
- (2) 受験票は、WEB出願システムを通じて、**2022年2月14日(月) 17:00**を目途に印刷可能となる予定です。試験前7日前になっても受験票の印刷に関する通知が届いていない場合は、お問い合わせください。
- (3) 受験票を各自、A4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。
- (4) 受験票は試験日ごとに別ファイルになっています。間違いのないよう、確認して持参してください。
- (5) 受験票には試験室、集合場所及び集合時間は記載されていません。試験室は試験日当日掲示します。
- (6) 受験番号は志願者数を示すものではありません。
- (7) 受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなりますので、ご注意ください。
- (8) 万一、試験当日に受験票を忘れた者は、受付時に申し出て仮受験票の交付手続きを行ってください。

7. 障害等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等のある方で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、下記により出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障害を負うこととなった場合は、速やかに相談してください。

- (1) 相談時期
2021年12月15日(水)まで
- (2) 相談方法
事前に本学学務課(直通:027-265-7361)まで電話連絡し、本学で定める相談申請書(住所・氏名・性別・連絡先・志望学群・障害の状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください)及び診断書等の必要書類を提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。
- (3) 連絡先・提出先
「3. 出願先」(10ページ)と同じ

Ⅲ 受験上の注意事項

1. 試験場への入退場

- (1) 受験生は、両日程とも9時30分までに指定された試験室に入室し、着席してください。

- (2) 駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。なお、前橋試験会場については、試験当日にJR前橋駅前から臨時バスを運行する予定です。具体的な発車時刻は永井運輸株式会社様のホームページにてご確認ください。公共交通をご利用の方は、帰りの交通機関の運行時間等にご注意ください。
- (3) 指定された試験場、試験室以外では、いかなる理由があっても受験は出来ません。

2. 個人的事情による遅刻者の扱い

試験開始後、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。

3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い

- (1) 公共交通機関の大幅な遅延による遅刻の場合は、遅刻者に別室での受験を認めることがあります。試験場入口の係員に申し出てください。
- (2) 公共交通機関の大幅な遅延が生じ、試験当日多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で、全体の試験開始時間を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。

4. 所持品

- (1) 受験票：試験当日は、大学入学共通テスト受験票と本学の受験票の両方を必ず持参してください。本学の受験票は、白色のA4用紙で印刷してください。試験当日は常に2つの受験票を携帯してください。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (2) 腕時計：各自で持参してください。試験室に時計はありません。また、時計の貸出は行いません。
- (3) 筆記用具等：試験当日は、筆記用具を必ず持参してください。詳細は以下のとおりです。

<試験中に使用を認めるもの>

- ・鉛筆（黒「HB」「B」）、シャープペンシル（黒「HB」「B」）・消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
- ・時計（辞書や電卓などの機能があるものや、それらの機能の有無が判別しにくいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可）・目薬・マスク・ハンカチ
- ・ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）

<試験中に使用を認めないものの例>

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器等
- ・携帯電話、携帯音楽プレーヤー等、音を発するもの
- ・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（これらの機能は試験前に必ず解除してください）
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）
- ・コンパス、翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん
- ・ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）、付箋紙
- ・筆入れ（ペンケース）、耳せん

5. 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は失格とします。
- (2) 受験票のほか、「試験中に使用を認めるもの」以外の所持品を机の上に置くことはできません。
- (3) 受験票は、試験時に試験監督の指示に従って明示できるよう、受験票の1ページ目が見え

- るように4つ折りし、机の上の受験番号ラベルの手前に置いてください。
- (4) 携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末は、アラーム機能を止めてから本体の電源を切り、かばんに入れて身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。試験時間中にかばん等の中で音などが発生した場合は、監督者が本人の了承を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
 - (5) 座布団、ひざ掛けの使用を希望する場合は、試験開始前に挙手し、監督者の許可を得て使用してください。
 - (6) 耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので使用できません。
 - (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は行いません。
 - (8) マスクは正しく着用してください。また、顔写真照合の際、一時的にマスクを外していただくことがあります。
 - (9) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められた場合、当該年度の本学におけるすべての入学試験において不合格とします。
 - (10) 試験時間中は退出することはできません。試験時間中に体調不良又はトイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合には、挙手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、受験を中断した場合でも、試験時間の延長は認めません。
 - (11) 問題用紙及び解答用紙を配付する試験では、用紙に記載されている注意事項をよく読んでください。
 - (12) 試験室における受験生間の物品の貸借は一切認めません。

6. その他

- (1) 試験当日に該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。また、指定した教科・科目の成績が大学入試センターから本学に提供されなかった場合は、合否判定の対象外となります。
- (2) 学生募集要項の受験上の注意のページについては印刷するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- (3) 本学では宿泊施設の斡旋はしておりません。
- (4) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受け付けを行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じて責任を負えませんので注意してください。
- (5) 前橋試験会場は、試験日前日の午前までに限り下見はできますが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (6) 新型コロナウイルス感染症等により受験が困難な受験生に対して、追試験を実施します。当該感染症に感染又はその疑いが判明した際は、試験当日までに、本人もしくはその保護者等から学務課入試係まで連絡をしてください。詳細については、「**V 追試験の実施**」（15ページ）を参照してください。
- (7) 不測の事態等が生じ試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。
- (8) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
- (9) その他必要が生じた場合は、後日通知します。
- (10) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。また、この場合は問題の一部を改変することもあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

IV 感染症等への対策

試験場における感染症等の感染を防止し、安心して受験できる環境を確保するために、受験生は以下の事項に留意してください。

1. 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

2. 受験できない者

次の場合は受験できないため、追試験の申請を行ってください。

- (1) 新型コロナウイルス感染症に罹患している者
- (2) 試験日直前に保健所から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に該当するとされた者
- (3) 試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者
- (4) 学校保健安全法で出席が停止されている感染症（インフルエンザ、麻しん等）に罹患している者

3. 試験当日の留意事項

- (1) 試験当日の検温で37.5度以上の熱がある受験生は、受験を取りやめ、追試験の受験を申請してください。
- (2) 試験場出入口にて、検温を実施します。感染症の感染抑制のための取組として、ご理解とご協力をお願いします。
- (3) 37.5度までの熱はないものの、発熱・咳等の症状がある受験生は、その旨を試験場係員等に申し出てください。場合によっては、別室での受験や追試験の受験申請を指示することがあります。
- (4) 症状の有無にかかわらず、各自でマスクを持参し、試験時間中の本人確認時や昼食時以外は常に着用してください。試験場内ではマスクを廃棄しないでください。何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合には、「7. 障害等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談」（12ページ）に従い、申請を行ってください。試験当日の申請は認めません。
- (5) 試験室入室時は、教室前に設置したアルコール消毒剤で手指消毒を行ってください。
- (6) 試験室や面接控室では頻繁に換気を行います。上着などの衣服を持参してください。
- (7) 休憩時間における他者との接触、会話を極力控えてください。

4. 衛生管理

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など体調管理に心がけてください。

V 追試験の実施

1. 追試験日程

- 試験会場：前橋工科大学（試験室等は当日に受付でお知らせします。）
- 試験日（前期日程・公立大学中期日程共通）：2022年3月22日（火）
- 試験時間：対象者に別途通知します。

2. 追試験の対象者

「IV-2. 受験できない者」（15ページ）に該当する者

3. 申請受付期間

(1) 前期日程

2022年2月18日(金)～2月25日(金) 13時00分

(2) 公立大学中期日程

2022年3月2日(水)～3月8日(火) 13時00分

ただし、両日程とも土日祝日は除きます。

4. 申請方法

(1) 申請受付期間内に本人または代理人が本学学務課入試係(直通:027-265-7361)に電話し、申請を行う旨を連絡してください。

(2) 次の書類を簡易書留・速達扱いで大学へ郵送してください。郵送期限は申請受付期間最終日の翌日17時00分(必着)とします。

(提出書類)

・追試験受験申請書(本学所定様式)

・受験票(写)

(郵送先)

「3. 出願先」(10ページ)と同じ

5. 追試験受験許可書の交付

申請結果に基づき、追試験の受験を許可する者に「追試験受験許可書(本学所定様式)」を送付します。「追試験受験許可証」は追試験当日に必ず持参し、受付時において受験票とともに提示してください。

6. その他

(1) 感染症のまん延や災害等による不測の事態が生じた場合は本対応を含め見直すことがあり、その場合は適宜ホームページ等でお知らせします。

(2) 対象者に該当するかどうか判断がつかない場合や不明な点は本学学務課入試係(027-265-7361)へお問合せください。

VI 合格発表

1. 発表日時

(1) 前期日程 : 2022年 3月 5日(土) 13時00分

(2) 公立大学中期日程 : 2022年 3月20日(日) 10時00分

2. 発表方法

合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」等を速達で郵送します。併せて、合格者の受験番号は本学ホームページ(<https://www.maebashi-it.ac.jp>)で、発表日時に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。大学構内等での掲示は行いません。

なお、不合格者には通知を行いません。また、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

3. 追加合格等

2022年3月27日(日)までに、入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、追加合格により欠員を補充します。追加合格者には、2022年3月28日(月)午前8時から入学志願票に記

載された志願者本人の「携帯電話（本人）」又は「現住所（電話番号）」に連絡します。連絡が取れない場合は、追加合格者の資格を失います。

追加合格者の入学手続は、本学が指定する入学手続書類を「**(3)入学手続先**」（18ページ）へ**持参**し行います。入学手続日は、担当者が通知します。既に他の国公立大学の入学手続が完了した者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格により欠員を補充しても、入学手続完了者が入学定員に満たない場合、欠員補充第2次募集を行います。4月1日以降に欠員補充第2次募集を行う場合は、本学のホームページ（<https://www.maebashi-it.ac.jp>）に掲載します。

4. 情報開示

本学では、一般選抜【前期日程・公立大学中期日程】を受験し、不合格となった者のうち希望者に対し、「入試情報開示請求書」に基づき、次の情報を提供します。

(1) 請求できる者

受験者本人に限ります。（代理人請求は認めません。）

(2) 開示内容

- ①一般選抜前期日程試験の個別学力検査等の科目別得点
- ②一般選抜公立大学中期日程試験の学力検査等の総合得点
- ③大学入学共通テストの科目別得点のうち、合否判定に利用した科目を本学の配点に換算した得点

(3) 請求方法

下記書類を同封の上、請求先に郵送してください。

- ①返信用切手（404円分）貼付の送付先が明記された長形3号の返信用封筒
- ②「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」の原本
（両受験票とも結果通知書に同封し、返却します。）
- ③入試情報開示請求書
本学ホームページ（<https://www.maebashi-it.ac.jp>）からダウンロードしてください。
本学窓口でも入手できます。

(4) 請求先

〒371-0816
群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課入試係

(5) 開示請求受付期間

2022年4月18日（月）から4月22日（金）必着

(6) 通知

2022年5月27日（金）を目途に発送します。

VII 入学手続

1. 入学手続

入学手続締切期日までに手続を完了しない場合は、入学資格を失います。

(1) 入学手続期間・方法

<前期日程試験の合格者>

2022年3月7日（月）から3月15日（火）まで

手続書類の提出は、「郵送」または「持参」により行ってください。

郵送：簡易書留・速達とし、入学手続期間最終日の17時00分必着

持参：土日祝日を除く9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分

注：郵送・持参のいずれの場合も、上記までに入学手続きが完了しない場合は、入学辞退者として扱います。

<公立大学中期日程試験の合格者>

2022年3月21日（月）から3月27日（日）まで

本学へ直接出向いて、入学手続き書類を持参し、入学手続きを行ってください。

やむを得ない事情により来学できない場合は、学務課入試係に連絡をし、その指示に従ってください。

注：上記までに入学手続きが完了しない場合は、入学辞退者として扱います。

(2) 入学手続きに必要なもの

- ① 振込金受領書〔入学料〕【原本】：書類提出前に金融機関で納入してください。
- ② 令和4年度大学入学共通テスト受験票
- ③ 本学の受験票（又は合格通知書）
- ④ 入学手続き案内で指示するもの
 - ア 誓約書（本学所定用紙）
 - イ 学生調査票（本学所定用紙）-アの裏面
 - ウ カラー写真 2枚（縦4cm×横3cm。1枚は学生調査票に貼付。）
 - エ 住民票の写し（本籍・続柄は表示不問。マイナンバー（個人番号）が記載されていないもの。）
 - オ 出身高等学校の卒業証明書（卒業見込証明書ではありません。出願時に「2022年3月までに卒業見込み」で受験した者のみ提出。大学入学資格を証明する書類なので、必ず期日までに提出してください。

※①、②、③は手続き完了後返却します。

(3) 入学手続き先

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係〔1号館1階事務局内〕

TEL：027-265-7361（学務課直通）

(4) 入学手続き上の注意事項

- ① 合格者が、入学手続き期間内に入学手続きを完了しない場合は、合格者としての権利を失うとともに、入学辞退者として取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続き期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ③ 入学料の振込のみでは、入学手続きを行ったことになりません。
- ④ 「卒業（修了）見込み」で出願した者が、2022年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑤ 入学手続き完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、至急本学に連絡し、2022年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。
- ⑥ 一度受け付けをした入学手続き書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次のア又はイに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続き期間最終日までに学務課入試係に問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。
受理しなかった場合は、本学から返還手続きの案内を行います。
 - ア 二重に納入した場合
 - イ 入学料の納入後、入学手続きをしなかった場合

2. 入学に係る経費

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学手続時
		141,000円 [前橋市内居住者(注1)]	
諸 経 費	後 援 会 費	50,000円	入学前
	同 窓 会 費	20,000円	
	災害傷害保険料(注2)	4,660円	
	TOEIC受験料	3,130円 [1年次に受験]	
	学生自治会費	21,000円	入学時
授 業 料 (注3、4、5)		535,800円	4月及び10月

※上記金額は、2021年4月1日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されます。

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が2022年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者(2021年4月1日から2022年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者)とします。「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、2022年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(2022年4月1日以降に転出した者は住民票の除票)を提出していただきます。ただし、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただきます。

(注2) 災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料(正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。)で、3月31日(木)までに払い込んでください。

(注3) 授業料の納入については、前期及び後期の2期に分割し、前期分については4月末日までに、後期分については10月末日までに、それぞれ年額の2分の1に相当する額を納入することになります。また、教科書購入等のために別途費用が必要となります。

(注4) 以下の全てを満たす方は、予算の範囲内において選考を行い、「前橋市出身入学者特待生」となり、1年次の1年間の授業料が半額となります。

①「入学する者又はその配偶者若しくは1親等の親族が2022年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している場合の当該入学者」を適用して入学した2022年4月以降の学部生

②大学入学共通テストにおける次の科目の各得点がすべて全国平均点以上(得点調整が行われた場合は、得点調整の得点とする。)

「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「英語(リーディング)」、「英語(リスニング)」、「物理」、「化学」、「生物」から1科目(高得点のものを採用)

(注5) 大学等における修学の支援に関する法律に基づき、授業料及び入学料の減免措置をおこないます。手続き等の詳細については、合格者にお知らせします。

VIII. その他

1. 個人情報の取り扱い

前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施によって取得した志願者の個人情報は、関係法令を順守し、次の目的以外には利用しませんので予めご了承ください。

- (1) 入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、本学個別学力検査の受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (3) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。
- (4) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は教務関係及び学生支援関係の業務、並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために学内でのみ利用します。

2. ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や ICT を活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実化を目的として、2021年度からノート型パソコン必携化制度を開始しています。そのため、本学へ入学される方は入学までに各自でノート型パソコンをご準備いただくこととなります。

なお、準備していただくノート型パソコンの推奨仕様は、後日大学ホームページでお知らせします。

3. 試験会場（各試験会場の案内図）

(1) 前期日程

①前橋試験会場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

〔群馬県前橋市上佐鳥町460番地1、TEL 027-265-0111（代表）〕

②東京試験会場：河合塾麹町校〔東京都千代田区六番町1-3〕

③名古屋試験会場：河合塾名駅校〔愛知県名古屋市中村区椿町1-12〕

※試験会場②、③の緊急時連絡先は、前橋工科大学となります。

※②、③の志願者数が受入定員を超えた場合は、前橋試験会場で実施する場合があります。

(2) 公立大学中期日程

前橋試験会場：前橋工科大学（試験室等は当日に1号館正面掲示板に掲示します。）

〔群馬県前橋市上佐鳥町460番地1、TEL 027-265-0111（代表）〕

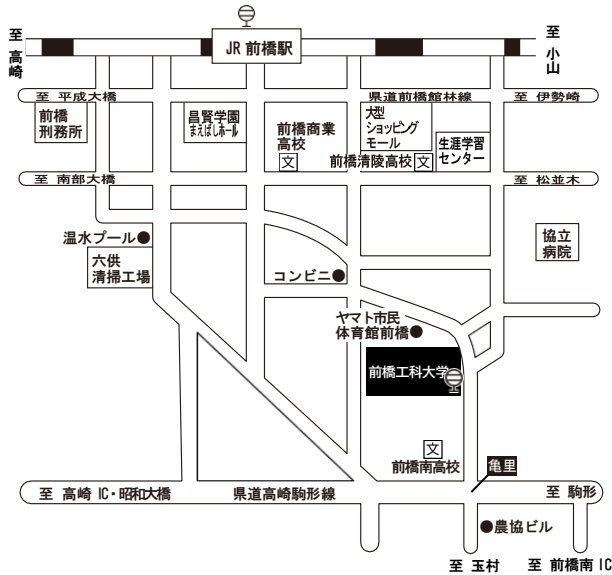
各試験会場の案内図

1 前橋試験会場 前橋工科大学【前期日程、公立大学中期日程】 群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1

交通

JR 前橋駅から
・バス(前橋工科大前下車)、タクシーで約 10 分
・徒歩で約 30 分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

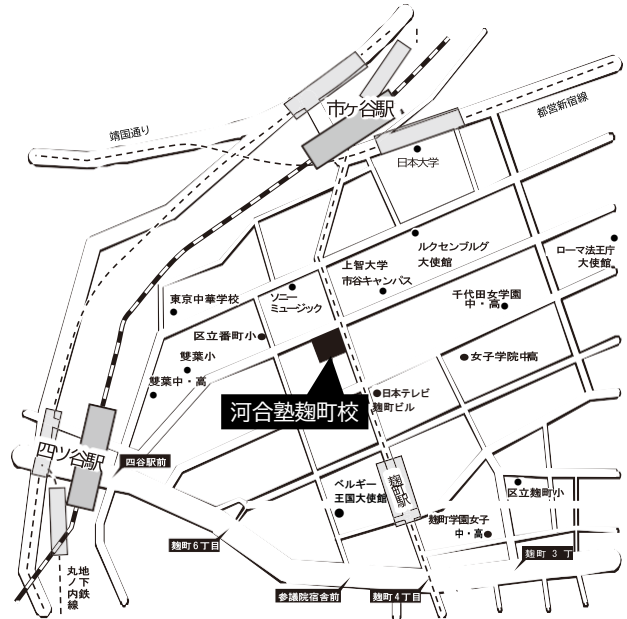


2 東京試験会場 河合塾 麹町校【前期日程のみ】 東京都千代田区六番町1-3

交通

JR 総武線「市ヶ谷駅」徒歩 3 分
東京メトロ有楽町線/南北線/都営新宿線「市ヶ谷駅」
3 番出口 徒歩 3 分
JR 中央線/総武線「四ツ谷駅」麹町口 徒歩 5 分
東京メトロ丸ノ内線/南北線「四ツ谷駅」1 番出口 徒歩 6 分
東京メトロ有楽町線「麹町駅」6 番出口 徒歩 2 分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

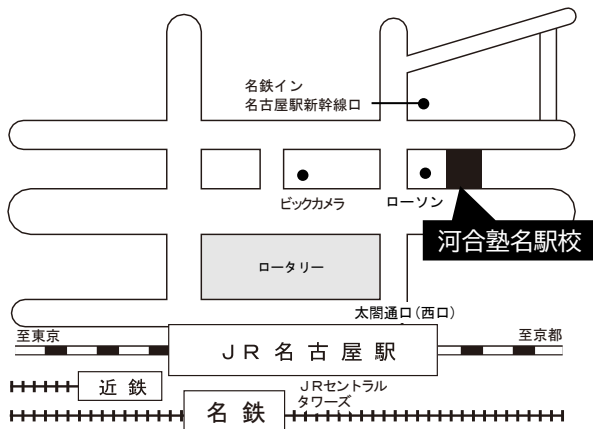


3 名古屋試験会場 河合塾 名駅校【前期日程のみ】 愛知県名古屋市千代田区椿町1-12

交通

JR 名古屋太閤通口から徒歩 3 分
名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅・地下鉄名古屋駅から徒歩 6 分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)



前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー

[建築・都市・環境工学群]

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会的構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語および英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

[情報・生命工学群]

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンスおよびライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学I・II・III・A・B (あるいは同等の科目)、理科では物理 (物理基礎を含む)・化学 (化学基礎を含む)、生物 (生物基礎を含む) (あるいは同等の科目)、国語および英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目 (工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目) に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士 (工学) の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝えることができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。